

GoodJob!
2016-2017

2017.2.24-26
TOKYO
渋谷ヒカリエ 8F 8/COURT

www.goodjobproject.com

TOKYO 2017.2.24 (FRI) - 26 (SUN) 渋谷ヒカリエ 8F 8/COURT

アート・デザイン・ビジネス・福祉の分野をこえて、新たな出会いと仕事が生まれる場

GoodJob!展 2016-2017

はたらき方の価値観が多様化するなかで、尊厳

や生きがいのあるしごとづくりが求められています。その一方で、障害のある人の暮らしのなかから、既成の労働観にとらわれない先駆的・革新的な取り組みが生まれています。Good Job!展は2012年度から始まり、福祉の領域をこえて、アート・デザイン・ビジネスとの協働によるしごとづくりを紹介する場です。さらに今年度は、学生が取り組んでいる実験的な活動やアイデアに注目した「Good Job! Student Award」も実施。これからの「Good Job!」に挑戦している人たちが集まり、学び、考え、語りあう場にぜひお越しください。

EXHIBITION

TOKYO 東京

2017.2.24(金)～26(日)

11:00-20:00

渋谷ヒカリエ 8F 8/COURT

東京都渋谷区渋谷2-21-1

東急東横線・田園都市線、東京メトロ半蔵門線・副都心線「渋谷駅」15番出口と直結。JR線、東京メトロ銀座線、京王井の頭線「渋谷駅」と2分連絡通路で直結

SEMINAR 1

24(金) 18:30-20:30 一般2,000円 / 学生1,000円
渋谷ヒカリエ 11階 Hikarie カンファレンス Room D

Good Job! セミナー
「学生×デザイン×福祉の可能性」

基調講演 「なぜデザインが必要なのか」
藤崎圭一郎(東京藝術大学美術学部デザイン科教授)
事例報告①「福祉と学生の関わり方」
ライラ・カセム(グラフィックデザイナー、東京大学先端科学技術研究センター特任助教)
事例報告②「Fabと福祉の可能性を見いだす～よしすけツールキットの開発～」
木許宏美(慶應義塾大学環境情報学部)
フロアディスカッション
藤崎圭一郎(東京藝術大学美術学部デザイン科教授) + 水野大二郎(慶應義塾大学環境情報学部准教授) + 原田祐馬(UMA / design farm 代表)

SEMINAR 2

25(土) 18:30-20:30 一般2,000円 / 学生1,000円
渋谷ヒカリエ 11階 Hikarie カンファレンス Room D

Good Job! フォーラム
「これからのはたらき方を語り合う2時間」

基調講演 「未来をつくるイノベーターという人々」
田村大(株式会社リ・パブリック共同代表、東京大学i.school共同創設者)
セッション 「Good Job! NOW～障害のある人との協働実践者～」
Good Job! Award 入選者

PRESENTATION

26(日) 13:30-16:30
渋谷ヒカリエ 8F 8/COURT

最終プレゼンテーション、審査会、表彰式

審査委員長 田村大 (株式会社リ・パブリック共同代表)
審査員 塩瀬隆之 (京都大学総合博物館准教授) 柴崎由美子 (NPO法人エイブル・アート・ジャパン代表理事)
ナガオカケンメイ (デザイン活動家) 原田祐馬 (アートディレクター/デザイナー)
前川亜希子 (エイブルアートカンパニー商品開発ディレクター)
大賞賞金: 10万円

※会期・会場などは変更となる場合があります。最新の情報は、ウェブサイトをご覧ください。

企画展

よくはたらき、よくいきる

障害のある人の存在や個性、表現を起点とし、地域にあるさまざまな団体、資源をつなぎ、地域にGood Job!を提案する4団体を紹介します。障害のある人の仕事が「福祉」「障害」という枠をこえ、地域の文化・産業にとって、新しい価値観と仕事をつくりだしています。



NPO法人ボラリス [宮城]

「地域ですてきにはたらくたのしみまなぶ」をテーマに、産業、観光、文化芸術、心のケア、教育など、さまざまな背景をもつ団体と交流しながら、宮城県山元町を元気にする、これからの社会をつくる復興のかたちを提案。



NPO法人リバルテ [長野]

上田市の城下町を拠点に「何気ない自由」や「権利」を尊重していける社会や人、関係づくりを行う。街並全体をギャラリーにする「グッドアートミーツ街道2014」など地域の文化発信の拠点となっている。



Po-zkk & 創-HAJIME-cafe [和歌山]

社会福祉法人一麦会Po-zkk(ポズック)は、「自分の好きなことを仕事に」、表現やものづくり、廃材楽器によるちんどんパフォーマンスを各地で展開。近くの古民家で、生き方を模索する若者がはたらき、人と出会うカフェを運営。みんなが自然体で関わりあえる場を創っている。



株式会社ぬか [岡山]

個々の魅力が「ぬか漬」のように時間をかけてゆっくりと発酵し、社会へと広がっていくことをめざす。優しくて、ときにすどい戸田さんの言葉が描かれた「とだみくじ」や上木戸さんとベルトづくりを楽しむ「上木戸工作室」など、一人ひとりの好きなことをしごとへと展開。

Good Job! Award 入選展

障害のある人との協働から生まれた魅力的なしごと・はたらき方を全国から募集する「Good Job! Award」。応募数55件のなかから選ばれた12件を紹介します。

入選取り組みを継続的に応援する「Good Job!基金」を設立予定



「ICTと印刷の共同受注窓口」 [愛媛]
一般社団法人えひめICTチャレンジ事業組合
行政主導ではない共同受注窓口を主体的に立ちあげ、補助金に頼らず持続可能な運営ができる仕組みをつくる。情報通信技術と印刷業務に特化した協働が生まれている。



「ぼんめのご」 [愛知]
秋田順子
デザイナーと福祉施設の協働だけでなく、子育て中のママとつながり、刺繍、縫製など協力しながらつくりあげる。地域の人と積極的に関わりながら制作している。



「チャリティスイーツボックス」 [東京]
futacolab(フタコロラボ)
アーティスト、大学生、子ども、NPOがアートで関わる。シンプルで小ロット対応でき、企画の規模に関わらず展開。障害のある人が製造したスイーツがギフトとして地元へ広がっている。



「Entente(アンタント)」 [東京]
ライラ・カセム
アート活動が盛んではない福祉施設で、支援スタッフと利用者一人ひとりの能力を開花させるメソッドを開発し、社会参加と経済自立につながる展覧会と商品開発を行う。

Good Job! Student Award 入選展

学生による、新しいはたらき方や暮らしにつながる柔軟なアイデアや実践的な取り組みを4件紹介します。



1. 教材自作部 / 篠田幸雄、情報科学芸術大学院大学(IAMAS)
2. パリサーチ!! + アーティスト・イン・ホスピタル / 高橋和佳奈、筑波大学大学院
3. 追うことみえること-尊厳のためのデザインリサーチプロジェクト- / 中川ちほり、京都造形芸術大学 空間演出デザイン学科空間デザインコース
4. よしすけツールキット / 木許宏美・須佐和希、慶應義塾大学SFC水野大二郎研究室

Good Job! Award が目指すこと

障害のある人の創造性や表現、存在 × 企業、行政、教育・研究機関、伝統産業・地場産業、デザイナー、流通の仕組みなど

既存の価値観を変えるアイデアや感性

新たなしごと・はたらき方が生まれる



「OTON GLASS(オトンガラス)」 [東京]
株式会社 OTON GLASS
文字を読むことが困難なディスレクシア(読字障害者)や弱視者を対象とした「読む行為」をサポートするスマートグラス。読みたい文字を撮影し、音声で内容を理解する。



「はじめは一本の糸から〜」 [愛知]
NPO法人ひょうたんカフェ
織りを所得につなげる仕事にしていく仕組みをつくるため、一人ひとりの織りを糸1本から考える。織で柄を出す組織織りのなかにも遊びが垣間見える「イイ織り」を生みだす。



「土のうえ空のした」 [静岡]
NPO法人EPO
子育ての「困った」からはじまった活動。畑・森による生産活動だけでなく、動物たちとの暮らし、子どもが遊べる農場、カフェなど地域のなかでしごとを創りだしている。



「すみのわ」 [東京]
墨田区福祉作業所等ネットワーク<<KAI>>
福祉事業所の所得向上を目指し、墨田区に在住在勤のクリエイターたちと協力し、商品力が持続的に生み出していくための商品開発と販売・PR支援を進めている。



「藍染手ぬぐい・型染鯉のぼり」 [東京]
NPO法人La Mano
工場の強みである「藍染」と障害のある人の「絵(カタチ)」の両方が生かせる製品を開発。機械導入・制作工程を見直し、障害のある人が関わる幅を増やしながら生産の質と量を向上。



「森と住人の中で」 [奈良]
NPO法人なないろササキ団
「地域の中で必要とされる仕事が団員の仕事」をコンセプトに、森とつながり、木工作家、デザイナー、高齢者、子ども、主婦、ボランティアとともに、福祉と林業の未来をつくる。



「~Social Cafe~ Sign with Me」 [東京]
一般社団法人ありがたの種
日本手話を母語とする「ろう者」によって設立。ろう者聴者のどちらかが多量の犠牲を払う構図ではなく、双方ともにメリットのある関わりを目指そうとする仕組みをつくる。



「樹里文字プロジェクト」 [奈良]
たんぼほの家アートセンター-HANA
伊藤樹里は、その日の出来事や、好きな人のことなど毎日文字を書く。「線(の芸術)」から展開し、誰もが日常で彼女の文字を使えるフォント化をめざすプロジェクト。



Good Job!プロジェクトは、福祉と異分野の連携による新しいはたらき方の創出が評価され、2016年度グッドデザイン金賞を受賞しました。



www.goodjobproject.com

特別協賛: 株式会社丹青社 TOYOTA

協賛: 明治安田生命

KOKUYO

株式会社 プリプレス・センター

かばきち

Sophia

主催: 一般財団法人たんぼほの家 共催: 公益財団法人パブリックリソース財団 特別協賛: 株式会社丹青社/トヨタ自動車株式会社 協賛: 明治安田生命保険相互会社/ココロ株式会社/株式会社プリプレス・センター/株式会社西山ケミックス/株式会社ソフィア 協力: 渋谷ヒカリエ/一般社団法人北海道チャレンジアート&プロダクツ/NPO法人エイブル・アート・ジャパン/NPO法人まる 会場構成: dot architects アートディレクション・デザイン: UMA/design farm 編集協力: MUESUM 映像制作: 長谷川和俊 トータルアドバイザー: 原田祐馬 お問い合わせ: Good Job! プロジェクト 〒630-8044 奈良市六条西 3-25-4 一般財団法人たんぼほの家内 Tel: 0742-43-7055 Fax: 0742-49-5501 E-mail: goodjob@popo.or.jp